Press Release
ブライダル総研

RECRUIT
株式会社リクルート

2021年8月3日

夫婦関係調査2021
既婚者の約７割は夫婦関係に満足。
コロナ禍により「夫婦関係満足度」は共働き世帯で上昇した一方、
専業主婦世帯・兼業主婦世帯※の妻は下降傾向に。

夫婦での「1時間以上の会話」と「感謝の言葉」が満足度に影響
「夫婦の呼び方」最新ランキング発表！ 夫・妻共、お互いは“名前呼び”がトップ

※各世帯の定義は以下の通り
専業主婦世帯：現在の夫婦の形態が専業主婦（主夫）
兼業主婦世帯：現在の夫婦の形態が兼業主婦（主夫）（パートタイム勤務：配偶者の扶養内）
共働き世帯：現在の夫婦の形態が共働き

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）が運営する『リクルートブライダル総研』では、夫婦関係の状況について詳細を把握するために、「夫婦関係調査2021」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告致します。

１．夫婦関係の満足状況（P3）

夫婦関係に満足している割合は67.2％で、４年前と同水準。

２．新型コロナウイルス感染拡大による「夫婦関係満足度」への影響　（P4-9）

夫は40代を除く全年代で、満足度が「上がった」と回答した割合が「下がった」と回答した割合を上回った。一方、妻は40代以降の全ての年代で、満足度が「下がった」と回答した割合の方が「上がった」と回答した割合を上回るという逆の結果に。夫婦の就業形態が影響したとみられる。

- 「専業主婦世帯」では、夫の満足度は上がるが妻は下がる傾向。「兼業主婦世帯」では夫・妻共に下がる傾向に。「共働き世帯」では妻・夫共に満足度が上がる傾向となった。
- コロナ禍において、夫と共働き世帯の妻の「テレワーク利用」頻度が高い一方、専業主婦世帯、兼業主婦世帯では「家事時間」が増加した妻が減少した妻を大きく上回っており、「心理的ストレス」と「身体的疲労感」の増加割合が高い。
- コロナ禍により夫婦関係満足度が上がった人は、夫・妻共に「配偶者に感謝の気持ちを伝える」「1時間以上の夫婦二人での会話」を行っている頻度が高い。妻側では「配偶者は家事をする」「配偶者は育児をする」「夫婦二人で同じ部屋で一緒に寝る」の頻度も高かった。

３．結婚時に行ったことと夫婦満足度との関係　（P.10-11）

結婚時に、結婚を機に実施するイベントを経験した人は、それらを経験していない人よりも、夫婦関係に満足している割合が高い。各イベントを通して、互いの人間関係や育ってきた環境、価値観のすり合わせをする機会が得られ、相互理解が深まるきっかけになっている。

４．夫婦の呼び方ランキング　（P.12-14）

夫婦の互いの呼び名は、夫・妻共「名前」がトップ。年代が下がるにつれて割合が高まる傾向に。

本件に関する お問い合わせ先	https://www.recruit.co.jp/support/form/

【調査概要】

『リクルートブライダル総研』による「夫婦関係調査」は、夫婦関係の満足度や夫婦関係に対する考え方など、結婚後の夫婦の意識と行動を把握するために、2011年より行っている調査です。

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査
【調査期間】 2021年2月26日（金）～3月2日（火）
【調査対象】 全国の「既婚者かつ本人・配偶者共初婚」の20代～60代の男女
【回収サンプル数】2,060件
※本調査では、性・年代別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に実際の性・年代別既婚者の人口構成に合わせるために、サンプルに重みづけを行った（ウエイトバック集計）
※各ページの数値（構成比・割合）は、一部を除きウエイトバックによる補正後の件数で算出したもの。また、小数点第２位以下を四捨五入しているため、構成比が100％にならない場合があります。

◆回収サンプル構成

（人）

		20代	30代	40代	50代	60代	合計
東名阪	男性	103	103	103	103	103	1030
	女性	103	103	103	103	103	
東名阪以外	男性	103	103	103	103	103	1030
	女性	103	103	103	103	103	

※「東名阪」とは、首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）、東海（愛知・岐阜・三重）、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）を示します。

性・年代別既婚者の人口構成（平成27年国勢調査による）に合わせてウエイトバック集計を実施

◆ウエイトバック補正後サンプル構成

（件）

		20代	30代	40代	50代	60代	合計
東名阪	男性	28	137	198	169	196	1517
	女性	41	160	214	175	199	
東名阪以外	男性	26	111	148	150	198	1315
	女性	36	126	161	163	196	

※ウエイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じる場合があります。

◆人口構成比算出元データ
平成27年国勢調査人口等基本集計より　http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm

※本文中で使用している時系列のデータは、過去に実施した同調査のデータです。調査概要は以下の通りです。
2019年、2017年の調査では、性・年代別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に実際の性・年代別既婚者の人口構成に合わせるため、サンプルに重みづけを行っています（ウエイトバック集計）。
また、ウエイトバック集計は、平成27年国勢調査人口等基本集計を元に算出しています。
2011年の調査は参考として、当時の分析条件（東名阪のみ／ウエイトバック補正なし）に準じた集計結果を掲載しております。

＜「夫婦関係調査2019」＞
【調査期間】 2019年3月15日（金）～3月17日（日）
【調査対象】全国の「既婚者かつ本人・配偶者共初婚」の20代～60代の男女
【回収サンプル数】2,060件

＜「夫婦関係調査2017」＞
【調査期間】 2017年3月28日（火）～3月29日（水）
【調査対象】全国の「既婚者かつ本人・配偶者共初婚」の20代～60代の男女
【回収サンプル数】2,000件

＜「夫婦関係調査2011」＞
【調査期間】 2011年3月24日（木）～3月29日（火）
【調査対象】東名阪の「既婚者かつ本人・配偶者共初婚」の20代～60代の男女
【回収サンプル数】1,000件

【夫婦関係の満足状況　ー　経年比較】

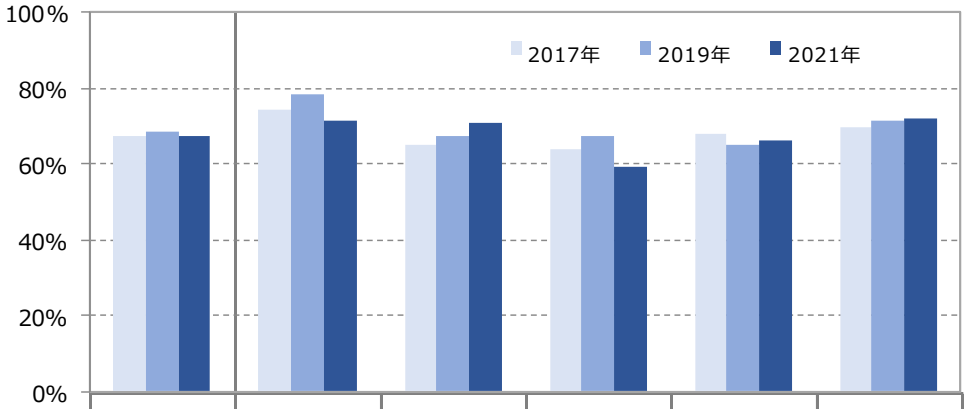
夫婦関係に満足している割合は67.2%で、４年前と同水準。

➢ 男女別での「夫婦関係に満足している」割合は、妻側は66.7%（前回66.7%）と大きな変化がない一方、夫側は67.7%（前回70.2 %）と2.5ポイント減少した。

■ 夫婦関係の満足状況（全体／夫・妻年代別／単一回答）

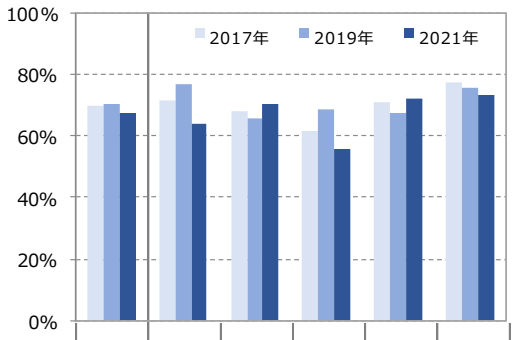
※下表の数値は、『夫婦関係に満足している』について「非常にそう思う」「ややそう思う」回答者の合計

＜夫婦関係に満足している人の割合＞



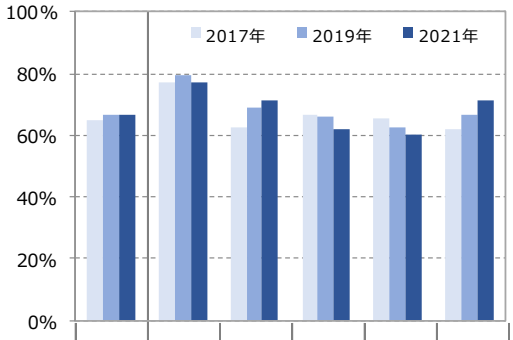
	全体	20代	30代	40代	50代	60代
2021年	67.2	71.7	70.7	59.1	66.1	72.2
2019年	68.4	78.5	67.3	67.3	65.1	71.3
2017年	67.2	74.7	65.3	64.1	68.0	69.6
2021年－2019年（pt）	-1.2	-6.7	3.4	-8.2	1.1	1.0

＜夫＞



	全体	20代	30代	40代	50代	60代
2021年	67.7	64.3	70.3	55.8	72.3	73.4
2019年	70.2	76.8	65.5	68.5	67.8	75.7
2017年	69.9	71.4	68.1	61.5	70.9	77.4
2021年－2019年（pt）	-2.5	-12.5	4.7	-12.7	4.5	-2.4

＜妻＞



	全体	20代	30代	40代	50代	60代
2021年	66.7	77.0	71.1	62.2	60.3	71.1
2019年	66.7	79.6	68.9	66.2	62.5	66.9
2017年	64.8	77.0	62.8	66.4	65.3	61.8
2021年－2019年（pt）	-0.1	-2.6	2.2	-4.0	-2.2	4.3

※小数点第２位以下を四捨五入しているため、構成比が100%にならない場合があります。
また、2021年調査と2019年調査との差は、小数点第２位以下を含めた数値で算出しているため、数値にずれが生じる場合があります。

【コロナ禍による「夫婦関係満足度」への影響　ー　夫・妻年代ごと】

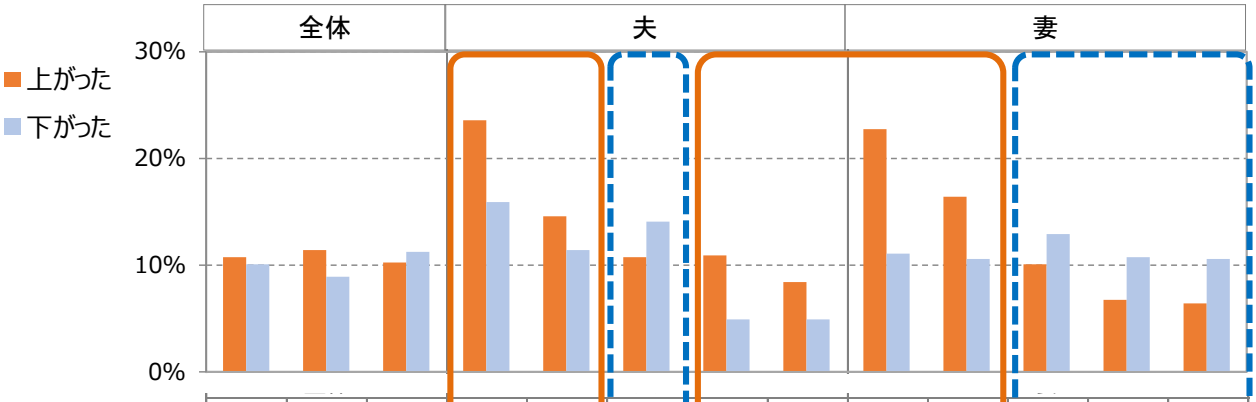
コロナ禍による夫婦関係満足度への影響は、全体傾向としては満足度の上昇と低下がほぼ同程度。一方で、夫・妻や年代によって傾向に違いが。

- 夫は40代を除く全年代で、満足度が「**上がった**」割合が「下がった」を上回った。
- 一方、妻は40代以降の全ての年代で、満足度が「**下がった**」が「上がった」を上回った。

■ 新型コロナウイルス感染拡大の「夫婦関係満足度」への影響（全体／夫・妻年代別／単一回答）

※上がった：「非常に上がった」「やや上がった」の合計
下がった：「非常に下がった」「やや下がった」の合計

＜夫・妻年代別「夫婦関係満足度」が上がった人・下がった人の割合の比較＞



	全体	夫	妻	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代
上がった	10.7	11.3	10.2	23.5	14.5	10.8	10.9	8.4	22.6	16.3	10.0	6.7	6.4
下がった	10.1	8.8	11.2	15.9	11.3	14.0	4.9	4.9	11.0	10.5	12.9	10.7	10.6
上がった-下がった（pt）	0.6	2.5	-1.0	7.6	3.1	-3.2	6.0	3.4	11.6	5.9	-2.9	-4.0	-4.2

※満足度が「上がった」「下がった」の差は、小数点第２位以下を含めた数値で算出しているため、数値にずれが生じる場合があります。

□ 満足度「上がった」 ＞ 満足度「下がった」　　□ 満足度「下がった」 ＞ 満足度「上がった」

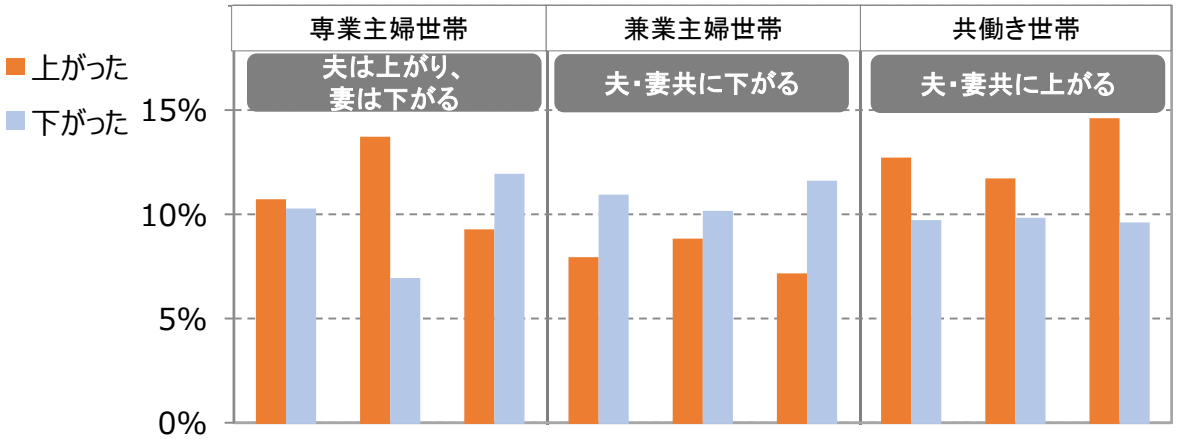
【コロナ禍による「夫婦関係満足度」への影響　－　夫婦の就業形態ごと】

夫婦の就業形態ごとに、コロナ禍での夫婦関係満足度の影響に差が。

- 「専業主婦世帯」では、夫の満足度が「**上がった**」とする人の割合が「下がった」割合を上回り、逆に妻は「**下がった**」が「上がった」を上回る傾向。
- 「兼業主婦世帯」では、夫・妻共に満足度が「**下がった**」が「上がった」を上回る傾向。
- 「共働き世帯」では、夫・妻共に満足度が「**上がった**」が「下がった」を上回る傾向。

■ 新型コロナウイルス感染拡大の「夫婦関係満足度」への影響（全体／夫婦の就業形態別／単一回答）

＜夫婦の就業形態別「夫婦関係満足度」が上がった人・下がった人の割合比較＞



	全体	夫	妻	全体	夫	妻	全体	夫	妻
上がった	10.8	13.7	9.3	7.9	8.8	7.2	12.8	11.8	14.7
下がった	10.3	7.0	12.0	11.0	10.2	11.6	9.8	9.9	9.6
上がった-下がった（pt）	0.5	6.8	-2.7	-3.0	-1.4	-4.4	3.0	1.9	5.1

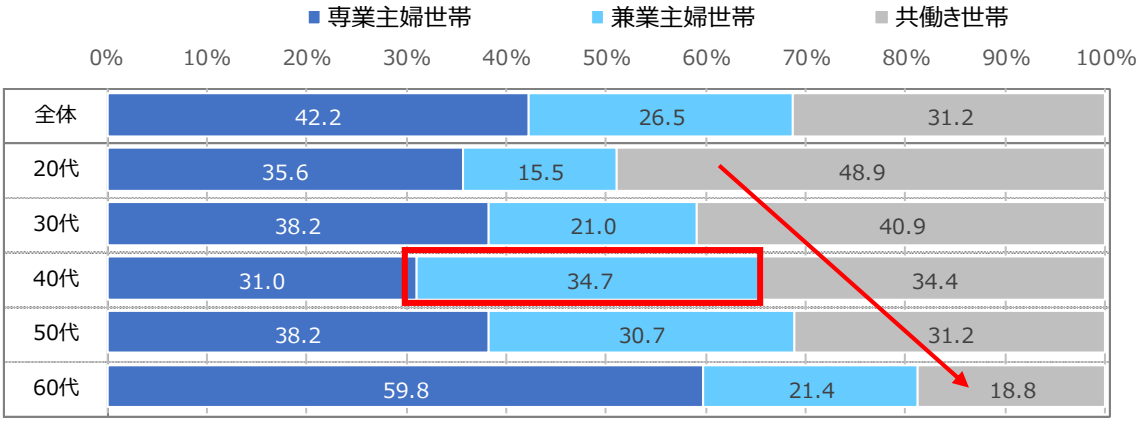
※満足度が「上がった」「下がった」の差は、小数点第２位以下を含めた数値で算出しているため、数値にずれが生じる場合があります。

- 本調査において、40代は、他の年代に比較して「兼業主婦世帯」の割合が高い。
- また、40代以上は、「共働き世帯」の割合が20代、30代に比較して低い傾向がある。

■ 夫婦の就業形態（全体／年代別／単一回答）

※各世帯の定義は以下の通り
専業主婦世帯：現在の夫婦の形態が専業主婦（主夫）
兼業主婦世帯：現在の夫婦の形態が兼業主婦（主夫）（パートタイム勤務：配偶者の扶養内）
共働き世帯：現在の夫婦の形態が共働き

＜夫婦の就業形態別の世帯構成＞



【コロナ禍による夫婦関係の変化　－　夫婦の就業形態ごと】

コロナ禍により、専業主婦世帯、兼業主婦世帯の妻の負担が増え、満足度に影響。

- 専業主婦世帯、兼業主婦世帯の妻における「**心理的ストレス**」と「**身体的疲労感**」の増加割合が高く、コロナ禍により40代以上妻の夫婦関係満足度が「**下がった**」が「上がった」を上回ったことに影響していると考えられる。
- 背景として、専業主婦世帯、兼業主婦世帯の妻の**家事時間**の顕著な増加が見られる。また、全形態の夫と共働き妻では、「**時差出勤、フレックスタイムの利用頻度**」、「**テレワークの利用頻度**」が増える一方で、専業主婦世帯・兼業主婦世帯の妻では同項目はほとんど増加していないか、減少している。

■ 新型コロナウイルス感染拡大の影響による変化（全体／夫・妻、夫婦の就業形態別／各項目単一回答）

※下表の数値は、『新型コロナウイルス感染拡大の影響』により「非常に増えた」「やや増えた」回答者の合計と「非常に減った」「やや減った」回答者の合計の差分値。黒字は「増えた」方が、赤字は「減った」方が多い項目
※各項目末尾に米印（※）がついた項目は有職者ベースもしくは子ありベースで集計している

		自宅で過ごす時間	心理的ストレス（負担感）	家事時間	家族で過ごす時間	身体的疲労感	夫婦二人で過ごす時間	育児時間※	配偶者に相談したり、会話をする機会	時差出勤、フレックスタイムの利用頻度※	一人で過ごす時間	テレワークの利用頻度※	収入	労働時間※	仕事の同僚や友人と過ごす時間	自身や配偶者の親・親族と会う機会
妻	専業主婦世帯	58.1	44.5	39.7	38.2	28.1	28.0	22.7	13.6	-2.3	-7.9	-9.9	-24.3	-29.4	-46.5	-49.6
妻	兼業主婦世帯	56.2	44.0	36.6	33.8	33.9	19.0	22.9	16.9	-0.5	-3.3	1.7	-30.8	-20.9	-55.7	-58.8
妻	共働き世帯	51.7	37.6	27.6	37.0	25.6	21.0	17.1	14.7	11.3	-0.6	13.7	-23.9	-8.7	-49.5	-47.5
夫	専業主婦世帯	45.0	29.0	16.1	33.9	15.8	24.8	17.7	16.8	14.0	6.5	27.1	-23.1	-14.6	-45.6	-36.8
夫	兼業主婦世帯	51.2	24.8	16.6	33.6	17.0	22.4	11.6	13.5	14.2	13.3	19.1	-29.2	-15.2	-48.3	-35.0
夫	共働き世帯	38.7	24.6	16.2	23.8	13.2	15.0	12.0	7.4	9.4	7.3	15.8	-20.6	-11.3	-34.9	-33.6

※下表の数値は、『新型コロナウイルス感染拡大の影響』により「非常に増えた」「やや増えた」回答者の合計

妻	専業主婦世帯	61.0	49.4	41.3	43.5	34.0	33.4	25.5	21.8	15.0	17.6	7.5	1.5	2.0	1.8	6.1
妻	兼業主婦世帯	58.9	50.2	39.5	42.0	38.7	29.6	27.6	22.8	4.0	19.4	4.0	4.1	6.4	0.5	3.8
妻	共働き世帯	53.5	45.4	30.6	40.9	33.6	27.0	22.1	19.7	12.4	17.7	16.4	4.3	8.4	3.2	3.6
夫	専業主婦世帯	49.3	36.3	20.3	39.3	23.4	29.4	21.6	22.4	21.9	20.0	32.5	3.4	9.0	2.1	5.7
夫	兼業主婦世帯	53.1	36.7	21.0	37.7	25.9	26.5	16.1	17.9	17.7	24.3	23.7	1.6	5.7	2.6	6.3
夫	共働き世帯	43.4	32.0	21.2	31.1	23.1	24.2	18.0	14.9	13.6	20.1	20.3	6.2	9.4	6.6	6.6

(%)

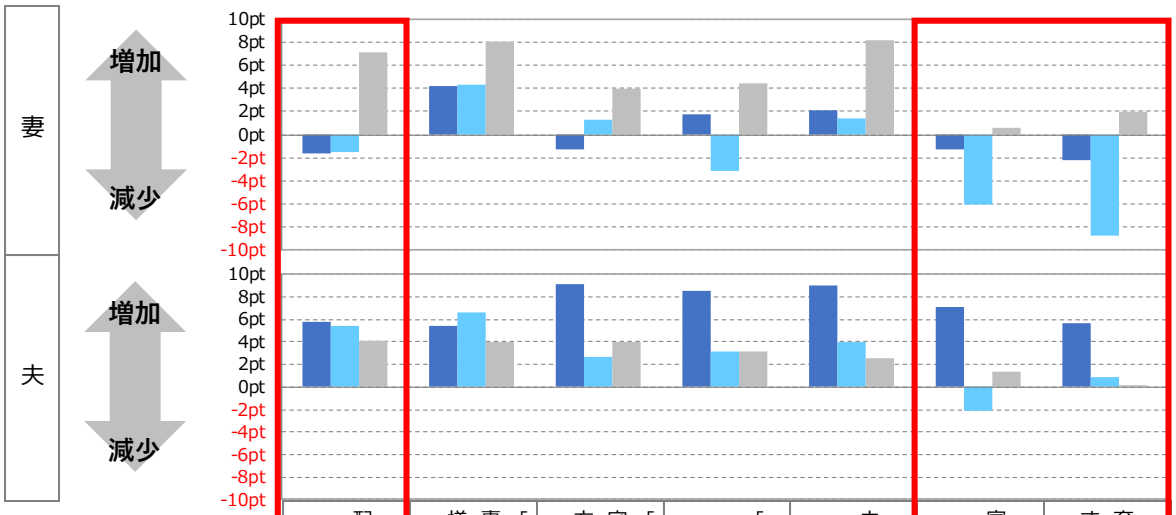
【コロナ禍による夫婦関係の変化　－　夫婦の就業形態ごと】

コロナ禍による夫婦関係の変化も、夫婦の就業形態ごとに違いが見られる。

- 共働き世帯は、夫・妻共に**相手への理解度や納得度**の各項目が「**上がった**」とする人の割合が「下がった」人を上回っている。
- 専業主婦世帯と兼業主婦世帯の妻の**家事分担に対する納得度**、および**育児分担に対する納得度**は「**下がった**」が「上がった」を上回り、**配偶者の好感度**も「**下がった**」が「上がった」を上回った。

■ 新型コロナウイルス感染拡大による夫婦関係の変化（全体／夫・妻、夫婦の就業形態別／各項目単一回答）

※下表の数値は、『新型コロナウイルス感染拡大の影響』により、「非常に上がった」「やや上がった」回答者の合計と「非常に下がった」「やや下がった」回答者の合計の差分値。黒字は「上がった」方が、赤字は「下がった」方が多い項目
※各項目末尾に米印（※）がついた項目は有職者ベースもしくは子ありベースで集計している



		配偶者の好感度	「配偶者の仕事や職場での様子」に対する理解度※	「配偶者の自宅での過ごし方」に対する理解度	「配偶者の価値観」への理解度	夫婦間の相互理解度	家事分担に対する納得度	育児分担に対する納得度※
妻	専業主婦世帯	-1.7	4.2	-1.2	1.8	2.1	-1.2	-2.2
	兼業主婦世帯	-1.5	4.4	1.3	-3.2	1.4	-6.1	-8.8
	共働き世帯	7.1	8.0	4.0	4.5	8.2	0.6	2.0
夫	専業主婦世帯	5.7	5.4	9.1	8.5	9.0	7.1	5.6
	兼業主婦世帯	5.4	6.6	2.6	3.2	3.9	-2.2	0.8
	共働き世帯	4.1	4.0	3.9	3.2	2.5	1.3	0.1

※下表の数値は、上がった：「非常に上がった」「やや上がった」の合計
／　下がった：「非常に下がった」「やや下がった」の合計

上がった	妻	専業主婦世帯	9.6	9.4	10.3	10.7	11.8	9.0	6.8
		兼業主婦世帯	9.6	9.9	11.0	7.0	9.5	7.5	6.7
		共働き世帯	14.9	14.4	13.2	11.5	14.7	11.0	9.8
	夫	専業主婦世帯	12.6	11.1	14.1	13.3	14.5	10.8	11.7
		兼業主婦世帯	13.7	13.4	11.0	11.5	11.7	9.1	7.1
		共働き世帯	13.5	11.0	11.5	11.6	11.0	9.6	7.2 (%)
下がった	妻	専業主婦世帯	11.3	5.2	11.5	8.9	9.6	10.2	8.9
		兼業主婦世帯	11.1	5.5	9.8	10.2	8.1	13.5	15.4
		共働き世帯	7.8	6.3	9.3	7.0	6.5	10.4	7.8
	夫	専業主婦世帯	6.8	5.7	4.9	4.8	5.5	3.7	6.0
		兼業主婦世帯	8.3	6.8	8.3	8.4	7.8	11.2	6.2
		共働き世帯	9.3	7.0	7.6	8.5	8.5	8.3	7.1 (%)

【コロナ禍による夫婦関係満足度の変化と「夫婦での行動」との関係】

コロナ禍により夫婦関係満足度が上がった人が実施していることは、1時間以上の夫婦での会話と「ありがとう」の言葉。

➢ 満足度が「上がった」人は、「下がった」人に比較して、夫・妻共に「**配偶者に感謝の気持ちを伝える**」「**1時間以上の夫婦の会話**」を行っている頻度が高い。満足度が下がる傾向が強い兼業主婦世帯夫・妻、専業主婦世帯妻でも同様の結果となった。

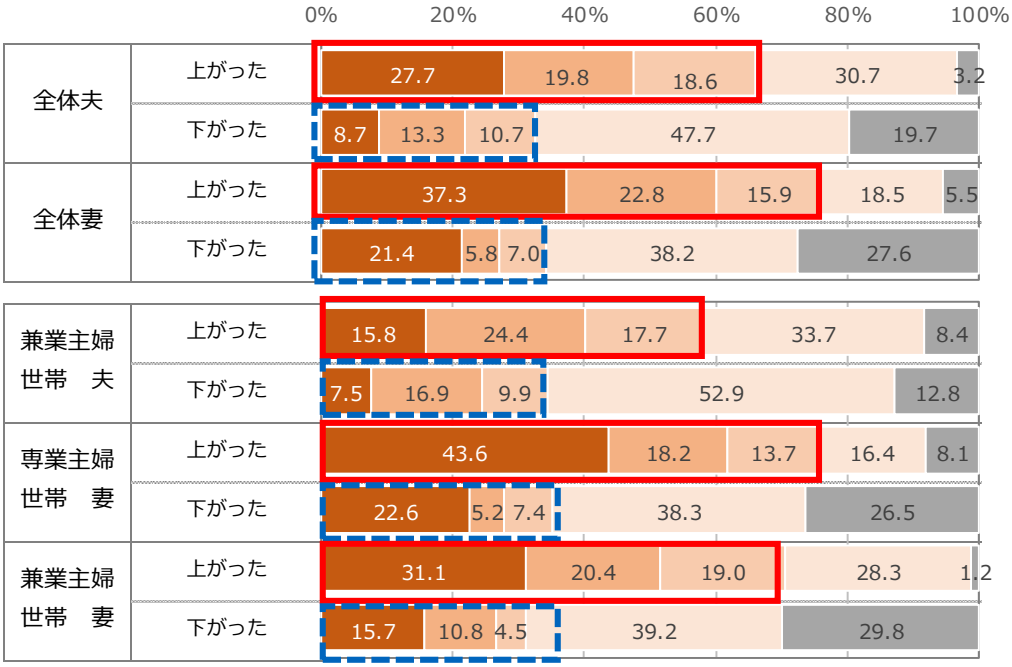
■ 新型コロナウイルス感染拡大による夫婦での行動への影響

（夫婦関係満足度に変化があった人／夫婦関係満足度の変化状況別／単一回答）

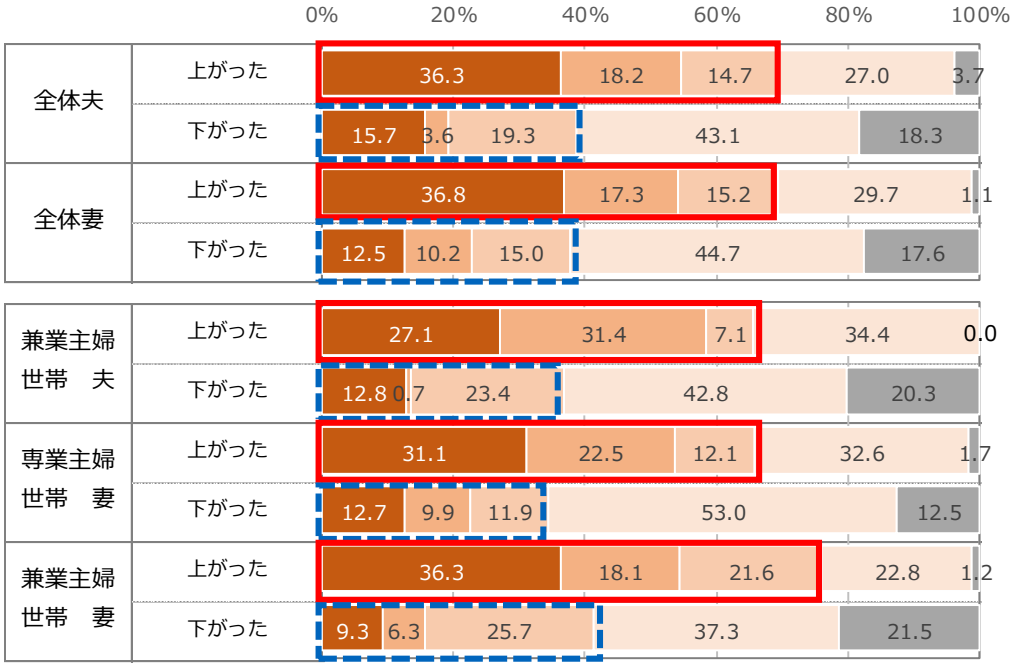
※項目は、各行動頻度の加重平均値の差分が4回以上のものより抜粋

■ほぼ毎日　■週に3～4回程度　■週に1～2回程度　■月に2～3回以下　■まったくない（なかった）

＜1時間以上の夫婦二人での会話＞



＜配偶者に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える＞

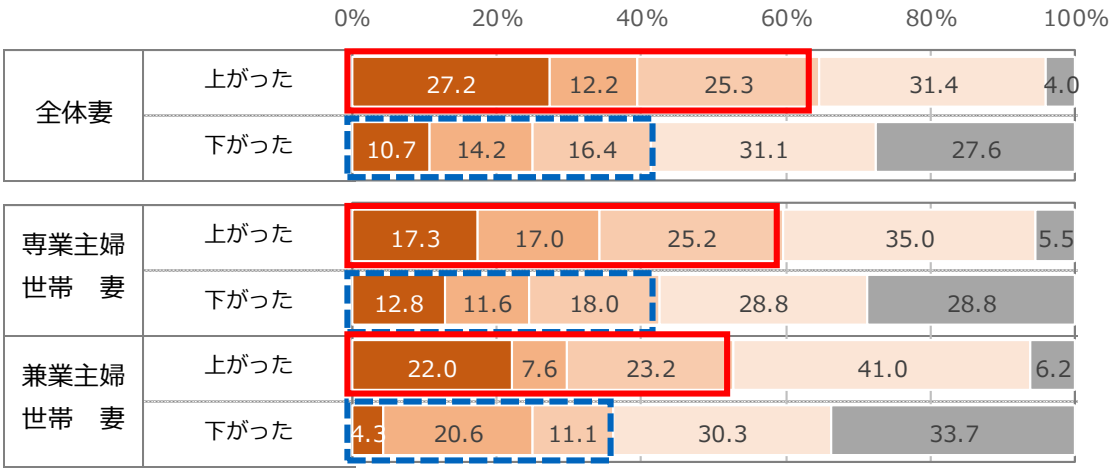


【コロナ禍による夫婦関係満足度の変化と「夫婦での行動」との関係】

➢ 妻側では「**配偶者は家事をする**」「**配偶者は育児をする**」「**夫婦二人で同じ部屋で一緒に寝る**」の頻度も高かった。満足度が下がる傾向が強い専業主婦世帯妻、兼業主婦世帯妻でも同様の結果となった。

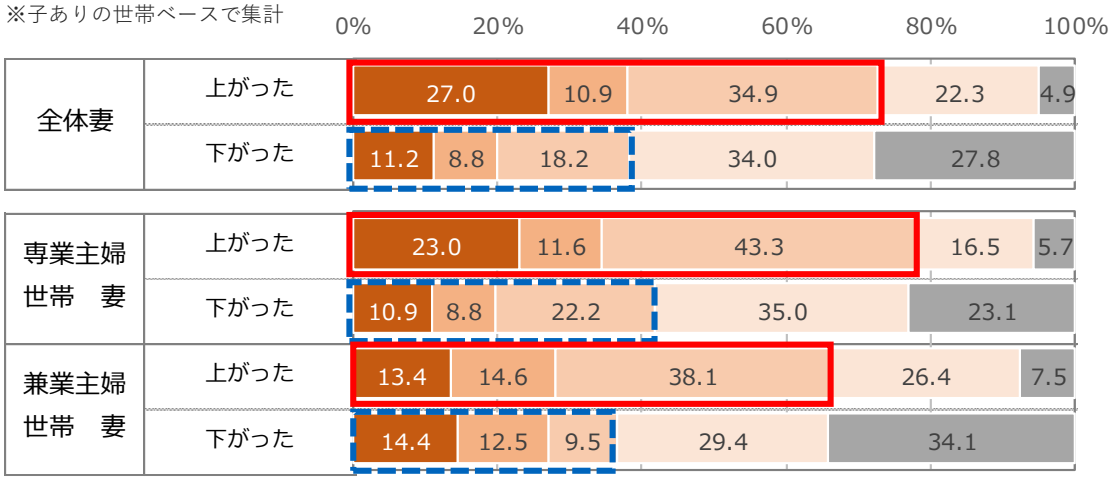
■ほぼ毎日　■週に3～4回程度　■週に1～2回程度　■月に2～3回以下　■まったくない（なかった）

＜配偶者は家事をする＞

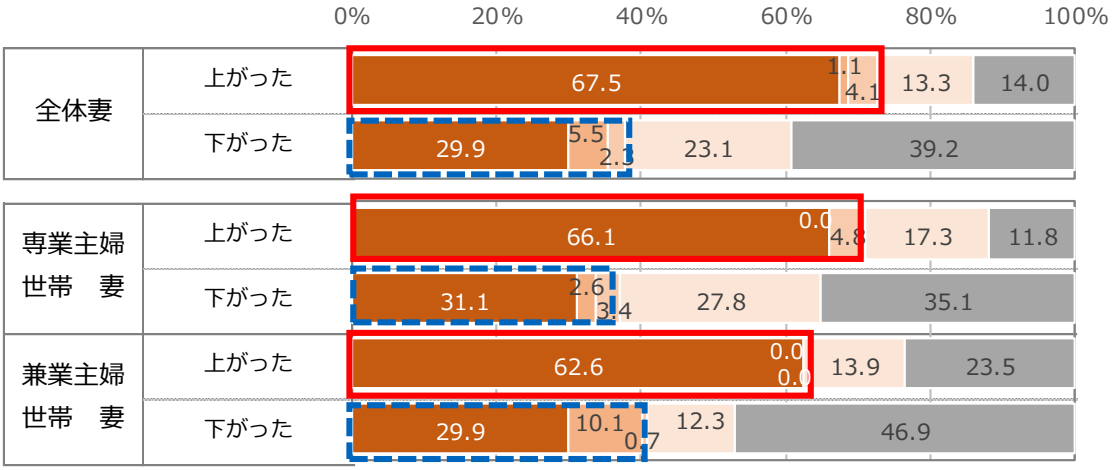


＜配偶者は育児をする＞

※子ありの世帯ベースで集計



＜夫婦二人で同じ部屋で一緒に寝る＞



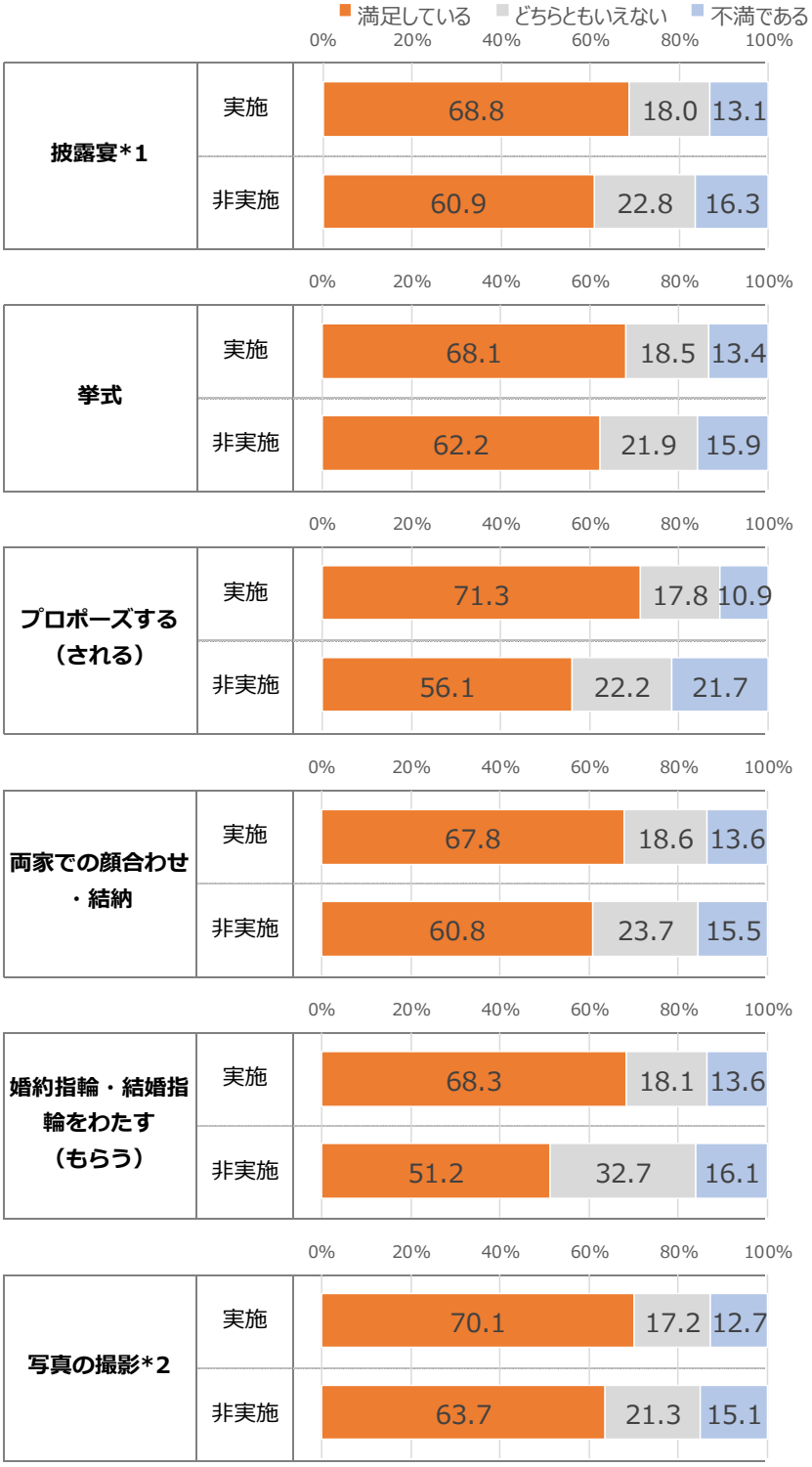
【結婚時に行ったことと夫婦関係満足度との関係】

結婚を機に実施するイベントを経験した人は、経験していない人よりも、

夫婦関係に満足している割合が高い。

■ 結婚時・結婚後のイベント実施有無別の夫婦関係満足度（全体／各イベントの経験有無別／単一回答）

※『夫婦関係に満足している』の問いに、「非常にそう思う」「ややそう思う」＝満足している、
「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」＝不満である



*1：「披露宴・披露パーティー・ウエディングパーティー」で聴取
*2：「エンゲージメントフォト・スタジオ撮影・ロケーション撮影など写真の撮影」で聴取

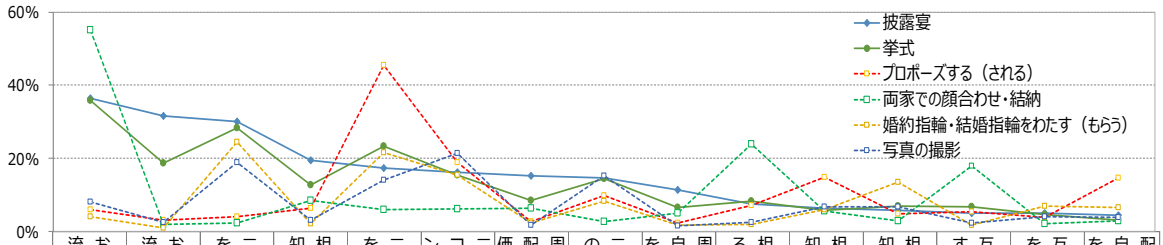
【結婚時に行ったことと夫婦関係満足度との関係】

結婚を機に実施するイベントは、二人の相互理解が深まるきっかけに。

- 結婚時に実施した各イベントを通して、互いの人間関係や育ってきた環境を知り、さまざまな価値観のすり合わせを行っている。
- このような背景から、結婚を機に実施するイベントを実施した人の夫婦関係満足度の方が、実施していない人よりも高いといえる。

■ 結婚に関する各イベントを通して配偶者と行えたこと（各イベントの経験者／複数回答）

※「披露宴・披露パーティー・ウエディングパーティー」の項目で降順ソート（上位15位まで表示）



	お互いの家族が交流する	お互いの友人が交流する	二人で大きなお金を使う	相手の人間関係を知る	二人で大きな決断をする	二人でたくさんコミュニケーションをする	周囲からの配偶者に対する評価を知る	二人でたくさんの時間を使う	周囲からの自分に対する評価を知る	相手の家族観を知る	相手の性格を知る	相手の金銭感覚を知る	互いの家族観をすり合わせる	互いの金銭感覚をすり合わせる	配偶者からの自分に対する評価を知る
披露宴*1	36.5	31.6	30.1	19.5	17.5	16.3	15.3	14.8	11.5	7.5	6.4	5.8	5.1	5.0	4.5
挙式	35.9	18.7	28.3	12.8	23.3	15.4	8.4	14.5	6.6	8.3	5.9	6.9	6.9	4.7	3.1
プロポーズする（される）	6.0	3.1	4.0	6.5	45.6	18.8	2.8	9.9	2.4	7.3	14.9	4.8	5.4	3.8	14.7
両家での顔合わせ・結納	55.1	2.0	2.4	8.5	6.1	6.3	6.3	2.7	5.0	24.0	5.6	3.0	18.0	2.2	3.0
婚約指輪・結婚指輪をわたす（もらう）	4.0	1.0	24.5	2.1	21.6	15.5	2.4	8.3	1.8	2.1	6.0	13.6	1.7	7.1	6.5
写真の撮影*2	8.1	2.6	18.9	3.0	14.0	21.4	1.7	15.3	1.6	2.5	6.9	6.7	2.3	4.1	4.0

*1：「披露宴・披露パーティー・ウエディングパーティー」で聴取
*2：「エンゲージメントフォト・スタジオ撮影・ロケーション撮影など写真の撮影」で聴取

【夫婦の呼び方ランキング　－　お互いの呼び方】

夫婦の互いの呼び名は、夫・妻共「名前」がトップ。若い年代ほど割合が高まる傾向。

１位「名前や名前にちなんだニックネーム」（夫46.0% ／妻44.4%）

２位「お父さん・パパ・おとうちゃん／お母さん・ママ・おかあちゃん など」（夫29.8%／妻39.5%）

➢ ここ10年間で※、夫・妻共「名前」呼びが増加、「パパ・ママ」など子供を中心とした役割で呼ぶ人が減少。特に40代夫の「名前」呼びが増え(＋20.3pt)、「お母さん・ママ・おかあちゃん など」が減少(－22.8pt)　※2021年数値は2011年数値と聴取方法が異なるため、参考値

■ 普段の配偶者の呼び方（全体／夫・妻年代別／単一回答）

※下表は選択肢「呼ばない」「その他」を除いたランキング

＜夫＞

順位	呼び方	(%)
1	名前や名前にちなんだニックネーム	46.0
2	お母さん・ママ・おかあちゃん など	29.8
3	おい・ねえ	8.4
4	あなた・おまえ	4.7
5	（上記以外の）ニックネーム	4.0

＜妻＞

順位	呼び方	(%)
1	名前や名前にちなんだニックネーム	44.4
2	お父さん・パパ・おとうちゃん など	39.5
3	（上記以外の）ニックネーム	4.2
4	おい・ねえ	3.4
5	あなた・おまえ	2.8

＜夫・妻年代別＞

	夫					妻				
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代
名前や名前にちなんだニックネーム	70.3	67.6	54.5	37.1	28.7	76.8	71.3	52.4	31.8	21.7
お父さん・パパ・おとうちゃん／お母さん・ママ・おかあちゃん など	7.1	15.3	25.1	36.3	41.1	9.9	20.2	28.0	47.7	63.0
おい・ねえ	1.7	1.5	5.1	9.7	15.5	1.3	0.4	5.0	5.2	2.9
あなた・おまえ	5.7	6.5	3.3	5.9	3.5	2.6	1.1	1.5	3.2	4.9
（上記以外の）ニックネーム	9.9	3.9	3.9	5.6	2.1	7.3	5.2	6.8	2.1	2.2

※各年代で最も高いスコアを橙色で塗りつぶし　(%)

■ 【参考】「普段の配偶者の呼び方」10年間の変化（東名阪／夫・妻年代別／単一回答）

※下表は選択肢「呼ばない」「その他」を除いたランキング
※差分は2021年-2011年のスコア
※差分が5pt以上のスコアは橙色、-5pt以下のスコアは薄青色で塗りつぶし
※2021年の数値は、「夫婦関係調査2011」調査時の分析条件（東名阪のみ／ウエイトバックなし）に準じた集計結果であるため、上表とは数値が異なる

＜夫＞

順位		差分 全体	差分 20代	差分 30代	差分 40代	差分 50代	差分 60代	2021年 全体	2021年 20代	2021年 30代	2021年 40代	2021年 50代	2021年 60代	2011年 全体	2011年 20代	2011年 30代	2011年 40代	2011年 50代	2011年 60代
	n=	-	-	-	-	-	-	515	103	103	103	103	103	500	100	100	100	100	100
1	名前や名前にちなんだニックネーム	4.8	-3.3	-2.0	20.3	6.9	2.1	53.2	77.7	66.0	55.3	36.9	30.1	48.4	81.0	68.0	35.0	30.0	28.0
2	お母さん・ママ・おかあちゃん など	-8.3	-6.1	-3.5	-22.8	-12.9	3.8	22.9	3.9	16.5	25.2	30.1	38.8	31.2	10.0	20.0	48.0	43.0	35.0
3	おい・ねえ	-1.2	-1.0	-4.0	1.8	-2.3	-0.5	7.8	1.0	1.0	7.8	11.7	17.5	9.0	2.0	5.0	6.0	14.0	18.0
4	あなた・おまえ	1.4	-0.1	6.8	0.9	3.8	-4.1	5.4	3.9	6.8	3.9	7.8	4.9	4.0	4.0	0.0	3.0	4.0	9.0
5	（上記以外の）ニックネーム	1.8	7.7	-1.1	-4.0	4.8	1.9	5.0	9.7	3.9	1.0	7.8	2.9	3.2	2.0	5.0	5.0	3.0	1.0

＜妻＞

順位		差分 全体	差分 20代	差分 30代	差分 40代	差分 50代	差分 60代	2021年 全体	2021年 20代	2021年 30代	2021年 40代	2021年 50代	2021年 60代	2011年 全体	2011年 20代	2011年 30代	2011年 40代	2011年 50代	2011年 60代
	n=	-	-	-	-	-	-	515	103	103	103	103	103	500	100	100	100	100	100
1	名前や名前にちなんだニックネーム	3.5	1.7	5.9	-3.5	7.1	6.3	50.1	76.7	68.9	50.5	31.1	23.3	46.6	75.0	63.0	54.0	24.0	17.0
2	お父さん・パパ・おとうちゃん など	-4.8	-7.2	-3.6	1.2	-10.3	-3.9	32.8	6.8	20.4	28.2	44.7	64.1	37.6	14.0	24.0	27.0	55.0	68.0
3	（上記以外の）ニックネーム	0.0	3.7	-3.1	-2.2	-0.1	1.9	5.8	11.7	4.9	6.8	2.9	2.9	5.8	8.0	8.0	9.0	3.0	1.0
4	あなた・おまえ	-1.1	1.9	-1.1	-1.1	-3.1	-2.1	3.1	2.9	1.9	1.9	3.9	4.9	4.2	1.0	3.0	3.0	7.0	7.0
5	おい・ねえ	-0.3	0.0	-2.0	4.8	-1.1	-3.1	2.3	1.0	0.0	5.8	2.9	1.9	2.6	1.0	2.0	1.0	4.0	5.0

(pt)　(%)

【夫婦の呼び方ランキング　－　他人に話すときの呼び方】

他人に話すときの呼び方では、夫側は「嫁・嫁さん」妻側は「旦那・旦那さん」が最多。

- 夫側：1位「嫁・嫁さん（29.8%）」、2位「名前（13.5%）」、3位「妻（13.1%）」
- 妻側： 1位「旦那・旦那さん（33.7%）」、２位「主人（20.2%）」、３位「夫(13.0%）」
- 20代夫は「名前（28.6%）」「嫁・嫁さん（27.6%）」「妻（13.7%）」と、名前呼びがトップに。

■ 他人に話すときの配偶者の呼び方（全体／夫・妻年代別／単一回答）

※順位は小数点第1位までの数値で算出
※下表は選択肢「呼ばない」「その他」を除いたランキング
※各年代で最も高いスコアを濃い橙色、2位のスコアを橙色、3位のスコアを薄い橙色で塗りつぶし

<夫>

順位		全体	20代	30代	40代	50代	60代
1	嫁・嫁さん	29.8	27.6	31.5	38.4	35.0	17.1
2	名前	13.5	28.6	22.1	16.6	8.5	7.1
3	妻	13.1	13.7	9.1	13.8	14.5	13.8
4	奥さん	9.8	11.5	16.7	8.3	9.1	7.0
5	かみさん	7.0	0.0	1.0	6.3	9.4	10.2
6	家内	6.1	0.0	1.2	1.5	4.6	15.4
7	ニックネーム	4.6	12.1	7.8	5.5	3.8	1.4
8	女房	3.9	0.0	0.0	0.0	3.1	11.1
9	お母さん・ママ・おかあちゃん	3.7	0.9	3.5	2.9	3.9	4.9
10	うちの	2.9	0.4	0.4	2.7	2.4	5.3
11	姓	0.6	2.2	1.0	0.0	1.5	0.0
12	配偶者	0.5	0.0	1.0	1.1	0.0	0.0
13	相方	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7
14	パートナー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14	彼女	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（%）

＜妻＞

順位		全体	20代	30代	40代	50代	60代
1	旦那・旦那さん	33.7	41.1	44.8	37.4	40.1	15.4
2	主人	20.2	3.1	9.2	15.0	19.9	36.7
3	夫	13.0	9.2	10.6	15.1	10.6	15.6
4	名前	12.3	26.5	17.7	11.8	9.8	8.2
5	お父さん・パパ・おとうちゃん	9.3	1.3	5.2	10.2	9.1	13.2
6	ニックネーム	5.6	13.1	10.9	7.9	1.8	1.4
7	うちの	1.5	0.9	0.0	0.4	2.0	3.2
8	姓	1.1	2.3	0.4	1.1	1.9	0.7
9	亭主	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
10	相方	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10	配偶者	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
10	彼	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
10	婿	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
10	パートナー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（%）

■ 【参考】「他人に話すときの配偶者の呼び方」10年間の変化
（東名阪／夫・妻年代別／単一回答）

※下表は選択肢「呼ばない」「その他」を除いたランキング
※差分は2021年-2011年のスコア
※差分が5pt以上のスコアは橙色、-5pt以下のスコアは薄青色で塗りつぶし
※2021年の数値は、「夫婦関係調査2011」調査時の分析条件（東名阪のみ／ウエイトバックなし）に準じた集計結果であるため、P13とは数値が異なる

＜夫＞

順位		差分 全体	差分 20代	差分 30代	差分 40代	差分 50代	差分 60代	2021年 全体	2021年 20代	2021年 30代	2021年 40代	2021年 50代	2021年 60代	2011年 全体	2011年 20代	2011年 30代	2011年 40代	2011年 50代	2011年 60代
	n=	-	-	-	-	-	-	515	103	103	103	103	103	500	100	100	100	100	100
1	嫁・嫁さん	-4.3	-30.6	-12.9	5.7	6.9	9.4	29.3	18.4	29.1	41.7	36.9	20.4	33.6	49.0	42.0	36.0	30.0	11.0
2	名前	4.2	8.2	1.4	6.6	4.8	-0.1	14.2	27.2	19.4	12.6	6.8	4.9	10.0	19.0	18.0	6.0	2.0	5.0
3	妻	5.4	9.4	1.7	7.6	5.6	2.7	14.0	20.4	10.7	14.6	14.6	9.7	8.6	11.0	9.0	7.0	9.0	7.0
4	奥さん	3.4	8.5	2.6	-6.2	7.7	4.7	12.2	17.5	14.6	6.8	11.7	10.7	8.8	9.0	12.0	13.0	4.0	6.0
5	ニックネーム	4.0	3.7	9.7	3.8	1.9	1.0	6.6	9.7	11.7	6.8	3.9	1.0	2.6	6.0	2.0	3.0	2.0	0.0
6	家内	-4.6	0.0	0.9	-6.1	-5.2	-12.5	5.4	0.0	1.9	1.9	6.8	16.5	10.0	0.0	1.0	8.0	12.0	29.0
7	かみさん	-3.6	-2.0	-7.0	-5.1	-4.3	0.7	5.0	0.0	1.0	4.9	8.7	10.7	8.6	2.0	8.0	10.0	13.0	10.0
8	お母さん・ママ・おかあちゃん	1.7	-1.0	3.9	0.9	0.9	3.8	3.9	1.0	4.9	2.9	3.9	6.8	2.2	2.0	1.0	2.0	3.0	3.0
9	女房	-5.1	0.0	0.0	-5.0	-16.0	-4.4	2.7	0.0	0.0	0.0	1.0	12.6	7.8	0.0	0.0	5.0	17.0	17.0
10	姓	1.0	2.9	1.0	0.0	0.9	0.0	1.2	2.9	1.0	0.0	1.9	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
10	うちの	-3.2	0.0	-3.0	-5.1	-3.0	-5.1	1.2	1.0	0.0	1.9	0.0	2.9	4.4	1.0	3.0	7.0	3.0	8.0
12	配偶者	0.4	0.0	1.0	1.9	0.0	-1.0	0.6	0.0	1.0	1.9	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
13	パートナー	-0.2	0.0	0.0	0.0	-1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
13	相方	-0.6	0.0	-3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
13	彼女	-0.6	-1.0	0.0	-1.0	0.0	-1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0

（pt）　（%）

＜妻＞

順位		差分 全体	差分 20代	差分 30代	差分 40代	差分 50代	差分 60代	2021年 全体	2021年 20代	2021年 30代	2021年 40代	2021年 50代	2021年 60代	2011年 全体	2011年 20代	2011年 30代	2011年 40代	2011年 50代	2011年 60代
	n=	-	-	-	-	-	-	515	103	103	103	103	103	500	100	100	100	100	100
1	旦那・旦那さん	0.0	-13.3	-2.2	-6.0	10.1	11.5	33.6	43.7	40.8	35.0	31.1	17.5	33.6	57.0	43.0	41.0	21.0	6.0
2	主人	-8.8	-5.1	-2.2	-7.6	-13.9	-15.2	19.8	2.9	7.8	18.4	29.1	40.8	28.6	8.0	10.0	26.0	43.0	56.0
3	名前	5.0	12.2	4.4	5.6	0.8	1.8	14.2	26.2	20.4	12.6	5.8	5.8	9.2	14.0	16.0	7.0	5.0	4.0
4	夫	4.4	5.8	7.7	4.7	2.5	1.5	12.2	7.8	10.7	11.7	15.5	15.5	7.8	2.0	3.0	7.0	13.0	14.0
5	ニックネーム	2.2	3.6	-1.4	4.7	1.9	1.9	7.6	12.6	12.6	8.7	1.9	1.9	5.4	9.0	14.0	4.0	0.0	0.0
6	お父さん・パパ・おとうちゃん	-3.2	-3.0	-4.1	1.7	-5.2	-5.3	6.4	0.0	4.9	9.7	7.8	9.7	9.6	3.0	9.0	8.0	13.0	15.0
7	姓	0.2	0.9	-1.0	0.9	0.0	0.0	1.6	2.9	1.0	1.9	1.0	1.0	1.4	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0
8	うちの	-0.4	-1.0	-1.0	-1.0	-0.1	0.9	1.4	1.0	0.0	0.0	1.9	3.9	1.8	2.0	1.0	1.0	2.0	3.0
9	配偶者	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9	相方	-0.4	0.0	0.0	-2.0	0.0	0.0	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0
9	彼	-0.4	0.0	-1.0	0.0	-1.0	0.0	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0
12	婿	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12	亭主	-0.4	0.0	-1.0	-1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0
12	パートナー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（pt）　（%）

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万5,000人以上の従業員と共に、60を超える国・地域で事業を展開しています。2019年度の売上収益は2兆3,994億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。
リクルートグループ：https://recruit-holdings.co.jp/　　リクルート：https://www.recruit.co.jp/

『リクルートブライダル総研』研究員　金井 良子の解説

◆コロナ禍は、夫婦関係に何をもたらしたのか？

『リクルートブライダル総研』
研究員
金井 良子（カナイ ヨシコ）

2020年春、新型コロナウイルス感染拡大により、家や仕事場での過ごし方が大きく変化。「コロナ離婚」なる言葉を耳にすることも。その後約１年がたち、コロナ禍も少しずつ日常になりつつある今、さて夫婦はどんな状態なのか？ それが今回の調査で最も知りたかったことです。

まず、全体の「夫婦関係満足度」は約7割と、これまでと大きな変化はありません。しかし、「コロナ禍による影響」を直接聞いた質問からは、さまざまな変化が見えてきました。中でも特徴的だったのは、夫婦の就業形態によって「夫婦関係満足度」の変化がそれぞれ大きく異なったこと。共働き世帯は夫・妻共に満足度が上昇した一方で、兼業主婦世帯では夫・妻共に満足度が下降する結果に（専業主婦世帯では、夫は上昇、妻は下降）。

背景をたどると、勤務形態の変化が見えてきます。夫側と共働き世帯の妻は総じて時差出勤やフレックスタイム・テレワークの利用頻度が上がり、自宅で過ごす時間が増える一方、専業主婦世帯、兼業主婦世帯の妻はさほど変化がなく、夫が家にいることで家事時間が増え、一人で過ごす時間が減り、ストレスが増え、夫婦関係への満足度も下がったのでしょう。また、いつも家に妻がいる専業主婦世帯とは違い、兼業主婦世帯では変わらず妻がパートタイムなどに出勤しているとすると、夫側も家事・育児の負担が増え、「夫婦関係満足度」が下がったとも見ることができます。家で家事をする妻を日常的に見る機会が増え、総じて夫側の「家事分担への納得度」が上昇している中で、兼業主婦世帯の夫のみ、納得度が下降している点を興味深く感じました。

しかしもちろん、就業形態にかかわらず、コロナ禍で「夫婦関係満足度」が上昇している夫婦はたくさんあります。その特徴を見ると、とにかく「1時間以上の夫婦二人での会話」や「配偶者に『ありがとう』と感謝の気持ちを伝える」ことを頻度高く行っていること！ 今のように不安や変化が多い状況では、とにかくコミュニケーション量を増やし、ポジティブな感情を互いに直接届けあうことが何より大切なのだと強く感じます。もし今、夫婦関係に何かしら不安を感じておられる方は、ぜひお試しください。

結婚式などの結婚時のイベントは、夫婦の始まりにおいて、さまざまなことを二人で話し、家族観や生活観などの価値観をすり合わせる機会になっているからこそ、その後の関係に良い影響を与えているのかもしれません。そう思えば、夫婦の時間を増やしてくれるコロナ禍は、夫婦関係を改めて見直し、バージョンアップする絶好の機会。今を共に乗り越えられたら、夫婦関係はもっともっと強いものになる、そう確信しています。

◆「夫婦の呼び方」に見る、時代の変化

今回、2011年の初回調査よりちょうど10年ということで、「夫婦の呼び方」の変化にも注目してみました。当時と集計方法が異なるため参考値ではありますが、「他人に話すときの配偶者の呼び方」に興味深い変化が。

まず、20代夫による「嫁・嫁さん」呼びが大幅に減少し、「名前」呼びがトップに。同時に「妻」「奥さん」という呼び方も増えました。 20代妻による「旦那・旦那さん」呼びが減少し、「名前」「夫」呼びが増加しています。また、妻の全世代で「主人」呼びが減少。特に50代・60代妻による減少が大きく、代わりに「旦那・旦那さん」呼びが増えています。夫を「主人」と呼ぶことに、広い世代で抵抗を感じるようになっているとも考えられ、夫婦や男女の関係性が確実に変化していることを感じさせる結果となりました。